

心からの“ありがとう”を伝えたい



「ストーリーはもちろん、舞台美術の細部にわたって楽しめるオリジナルミュージカルです。多くの方に感謝の気持ちを込めてがんばります」と語る斉藤さん

みの〜れ住民劇団 演劇ファミリーMyu みゆう

斉藤 裕子^{さん}

みの〜れと共に生活するスタイル
Minole Life
のすすめ No.30

日増しに寒さが身にしみる季節となりました。木々の葉も落ち始め、冬支度をしようとして。斉藤さんは愛娘の夢宙（ゆひろ）さんが小学生になるのを待ってみの〜れ住民劇団「演劇ファミリーMyu」に入団。夢宙さんの送迎や手伝いをして、うちに斉藤さんもMyuやみの〜れでいろいろ特技を生かして活躍している。

公演の成功が感謝の気持ち

「Myuは家族。ときには祖母のように、ときには父母のように、ときには姉妹、兄弟のような雰囲気がある。」と語る斉藤さんは、今回の作品では舞台裏方の要として活躍している。ときどき責任と不安で押しつぶされそうになると話す。また、舞台美術も担当していて、舞台の背景画やフライヤー（チラシ）の絵を描いている。「両親共が絵が上手で、その影響もあって小さい頃から絵を書くのが大好きだった。」と斉藤さん。中学校では、美術部に入り部長も務めたそう。美術部は静かなイメージを持つが賑やかで、楽しい部活だったという。「趣味で書いてる絵を使っていただけで嬉し

い」と話す斉藤さんは「アートみの〜れの部長も務めている。アートみの〜れは、みの〜れの事業のほとんどのチラシやポスターのデザインを手がけているみの〜れ支援隊組織のひとつ。現在は新しいロゴマークを作成中とのことだ。羽鳥幼稚園の園舎に壁画を描いたのも斉藤さんで今年3月には日本テレビの「ズームイン朝」の40周年を記念してこの壁画が放映された。「いつも自由に好きなことを活動できるのは家族の理解のおかげです」と斉藤さん。「お義母さんもフラダンスや大正琴で舞台上立つこともあるので、舞台上立つ喜びや練習がどんなに必要かということとを一番良く理解してくれて喜んで送り出してくれる。娘がいるからMyuやみの〜れに関わることができ、お義母さんと主人が気持ちよく送り出してくれるから楽しく活動できる。そこにすごく幸せを感じる。」と話す。お義母さんとは大の仲良しで、週末はお義母さんと娘と斉藤さんの3人でドライブなどでも楽しんでる。「家族仲良く、毎日を楽しんで生活できている恵まれた環境の中にいられることに感謝して、いつかお義母さんに恩返しが出来るようにしたい。」と語っていた。

斉藤さんは今回、舞台進行を務めている。「やってみると、やるのがあたりまえではなく、きちんとして『ありがとう』が言えるように、心がけたい。Myuのお母さん方も舞台の小さな小道具から背景画の大道具など一つ一つ丁寧に手作りで作っていたりと一つの舞台が出来るまでにたくさんのスタッフが力が必要です。だからこそ『ありがとう』を何倍にもして返せるようにしていきたいです。」と話す。

いよいよ12月23日は、演劇ファミリーMyuのオリジナルミュージカル「聖夜の贈りもの」が行われる。「舞台美術は下書きまで済んでいて、これから色塗りをしていく。練習ではオーブニングからエディングまで始まったので、たくさんの方の思いが沢山詰まってる作品なので一人でも多くの方に楽しんでほしい。ミュージカルを楽しんで、小道具から背景画まで2倍楽しめる舞台です」と斉藤さん。

明るくて元気一杯の斉藤さんは「聖夜の贈りもの」を成功させることによってみなさんに恩返しをしたいと話す。

（藤田佐知子）